



松前町立松前幼稚園 令和5年11月発行

～いろいろな人との交流を通して～

朝晩は冷え込むようになりましたが、日中は暖かい日が続いており、子どもたちは園庭で元気いっぱい遊んでいます。運動会後も、異年齢児同士で一緒になってリレーごっこを楽しんだり、長縄跳びに挑戦したり、「だるまさんがころんだ」などをしたりして、秋の自然の中、体を思う存分動かして遊ぶ姿が見られています。

先日、北伊予中学校から職場体験で2年生の生徒さんが6名来られ、子どもたちと一緒に遊んだり生活を共にしたりして楽しい3日間を過ごしました。「ねえねえ、お兄ちゃん、一緒に氷鬼しよう！」「いいよ！」思いきり走って逃げて、追いかけてもらうことを楽しんだり、今度は鬼を交代して、「待てー！」と言いながらタッチしようとして一生懸命走ったりして、「待て待てー！」「アッハッハッハー!!」と、たくさんの歓声が聞かれました。たくさん鬼ごっこした後は、仲良く手をつないでブランコへ。「ねえ！ブランコ、押して！」と言ったAちゃんに、「このくらい？」と、そうっと優しく背中を押してくれるお兄さん。二人で顔を見合わせてにっこり微笑みあう姿に、ほっこりしました。今回、職場体験で来てくれた中学生の中には、「みんながとても元気で、大変だなあと思うこともあったけど楽しかったです。」とか、「将来、幼稚園や保育園の先生になりたいと思った。」などの感想も聞かれました。

今年度、松前幼稚園には、伊予農業高校・町内の中学校・東雲女子大学などの生徒さん、子どもたちのおじいちゃんおばあちゃんなどいろいろな人たちが来られ、たくさん交流をすることができました。一緒に遊んでもらって、おしゃべりもして、子どもたちからは「いっぱい遊んでもらって嬉しかったよ！」「大好き！また来てほしいな～」などの声が聞かれました。コロナ禍でなかなか交流することができなかった3年間、ようやく以前のように触れ合えるようになり、今年度はたくさんの地域の人とも関わることができ、子どもたちにとってとても楽しい経験となったようです。

11月も、「働く人との交流」や「松前小学校との合同避難訓練」など、身近な地域の人や友達と関わる機会が計画されています。地域の人や学校や様々な施設とも連携を図りながら、いろいろな人との様々な交流を通して、お互いが親しみをもって過ごし、温かい人間関係が築けるように、その懸け橋となっていきたいと思っています。



～子どもたちとこんなふうに過ごしたいな～

3歳児 ○ 自分の思いを出しながら、友達や先生と一緒に遊ぶことを楽しもう。

- ・ 身近な秋の自然やいろいろな素材に触れながら遊びに取り入れよう。
- ・ 言葉のやりとりや動きなどで思いを伝えながら、ごっこ遊びやお話しの世界を楽しもう。
- ・ メロディやリズムを楽しみながら歌ったり楽器を鳴らしたりして遊ぼう。

4歳児 ○ 自分の思いや考えを伝えながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しもう。

- ・ 自分なりのイメージをもって、したい遊びにじっくり取り組もう。
- ・ 友達とのやりとりを交わしながら、表現する楽しさを味わおう。

5歳児 ○ 友達と共通の目的やイメージをもち、相談したり協力したりして遊びや生活を進めよう。

- ・ クラスのみんなで考えを出し合ったり教え合ったりしながら、表現する楽しさを味わおう。
- ・ いろいろな人と触れ合い、親しみをもったり、自分の言葉で思いを伝えたりしよう。
- ・ 身近な秋の自然に関心をもち、美しさを感じたり変化に気付いたりしよう。